

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公表番号】特表 2008-539037 (P2008-539037A)  
 【公表日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-045  
 【出願番号】特願 2008-509137 (P2008-509137)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 18/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 2 日 (2009.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療用超音波エネルギーを患者に供給する装置であって、該装置は、  
 少なくとも一つの超音波変換器を有するスキャンヘッドと、  
 該スキャンヘッドを支持するサスペンションデバイスと、  
 該超音波変換器を制御する治療コントローラと  
 を備えており、  
 該治療コントローラは、 $35 \text{ J/cm}^2$  よりも大きいエネルギー束 (E F) を供給するよ  
 うにプログラム可能であり、該 E F は次式によって決定され、  

$$[(p) \times (l/v) \times (dc) \times (nl)] / (sa)$$

ここで、

p = 電力、

l = ライン長、

v = 速度、

dc = デューティサイクル、

nl = ライン数

および

sa = スキャン面積である、装置。

【請求項 2】

前記装置は、 $109 \text{ J/cm}^2$  よりも大きい E F 値を生成するのに十分な超音波エネルギーを入力するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記治療コントローラは、複数の損傷フィールドを患者内に生成するようにプログラムされている、請求項 1 または 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記損傷フィールドは、少なくとも部分的に重複する、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記 E F 値は、組織内の温度を  $56^\circ\text{C}$  付近またはそれ以上に上昇させるのに十分である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 6】

前記治療コントローラは、脂肪組織を破壊し、同時にコラーゲンを変性させる治療効果を生成するようにプログラムされる、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の装置。

**【請求項 7】**

前記治療コントローラは、超音波エネルギーの 2 以上の印加において所望の E F 値を組織の単一の領域に供給するようにプログラムされている、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の装置。